

東北大学医工学研究科 x 臨床研究推進センター

令和6年度第2回

Health Tech Colloquium

革新的技術を医療に応用するためには、医療従事者と医工学研究者のコミュニケーションは欠かせません。

医療側の革新的技術への理解、開発側の臨床ニーズへの理解を深めるための交流の場として、Health Tech Colloquiumを開催します。

令和6年度第2回目は、医工学研究科の各研究室からのポスター発表と研究討論会を行います。



途中の入退場は自由です。奮ってご参加ください。

お子様連れでの参加也大歓迎です

医工学研究者と ネットワーキング してみませんか？

日時：2024年11月11日（月） 17:30～20:00

会場：星陵オーディトリウム1階エントランスホール

参加費：アカデミア無料（企業の方は1000円）

お申込みフォーム：<https://forms.gle/QVJk6kiB5tPQPfRo9>

医工学研究科の各研究室紹介はコチラ

（もしくはQRコードから閲覧）



お問い合わせ：医工学研究科神経外科先端治療開発分野
（担当：一ノ瀬）

ichinose@nsg.med.tohoku.ac.jp/022-717-7230

令和6年度第2回 Health Tech Colloquium

<ポスター発表>

発表のご連絡を頂いている分野をご紹介します。

- 医用ナノシステム学分野
「頸髄損傷者の身体機能回復を目指すWrap Around Neural-Passの開発」
- 神経外科先端治療開発学分野
「Ribosome collision is a targetable vulnerability in glioma」
「Temporal dynamics of mRNA translation and tRNA epitranscriptome dysregulation during stroke evolution in mice」
- 生体機能創成学分野
「ものづくり」から「機能づくり」へのパラダイムシフト～生物が先導するものづくり革命～」
- 生体電磁エネルギー医工学
「磁性ナノ粒子を用いたポータブル微生物、タンパク質センサ」
- 生体流体力学分野
「高い穿刺精度と更なる安全性および低侵襲治療を可能にするバイオミメティック穿刺アシストシデバイスの開発」
- ニューロロボティクス分野
「Alpha Band Lateralization is Associated with Bimanual Visuomotor Mapping Performance: AnElectroencephalography Study」
- バイオフィバー医工学分野
「生体信号の計測・操作を可能にする多機能ファイバセンサの開発」
- 病態ナノシステム医工学分野
「2分割発光酵素手法を用いたACE2とBOAT1複合体の即時発光計測」
- 融合シミュレーション医工学分野
「マイクロ流体デバイスによる生体内微小環境の再現と細胞実験」
- バイオセンシング医工学分野
「pHイメージングセンサ」
- 医用イメージング分野
「光音響イメージングによる炎症の評価」
- 医用流動工学分野
「循環器系医療機器のトレーニングと評価」
- スポーツ健康科学分野
「生体の中の水の挙動から見る骨格筋の質およびエネルギー代謝の評価法」
- ナノデバイス医工学分野
「マイクロシステムを用いた低侵襲医療機器の開発」
- 医用光工学分野
「中赤外光を用いた非侵襲血中成分分析」
- 医用金属材料学分野
「金属3Dプリンターを用いた医療機器開発」

ポスター発表は随時受け付けております。
ご発表をご希望の方のご連絡をお待ちしております。